SONY®

3-066-741-**01** (1)

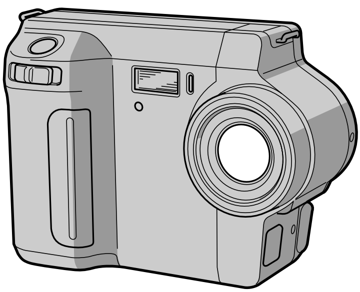
デジタルスチルカメラ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



FD Mavica　InfoLITHIUM™ L SERIES

MVC-FD87

必ずお読みください

本機はフロッピーディスクをメディアとして使用するデジタルカメラです。使用できるフロッピーディスクについては、14ページをご覧ください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、撮影内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機に振動や衝撃を与えないでください！

誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、フロッピーディスクが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

液晶画面、ファインダー（搭載機種のみ）およびレンズについて

- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんのでご安心してお使いください。
- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

湿気にご注意ください！

雨の日などに屋外で撮影するときは、本機を濡らさないようにご注意ください。
結露が起きたときは、50ページの記載に従って結露を取り除いてからご使用ください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

長時間使用時のご注意

本体が熱くなることがありますのでご注意ください。

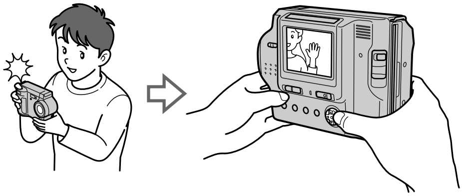
目次

こんなことができます

撮ってすぐ画像を確認して、不要な画像はすぐ削除できます

デジタルスチルカメラは、撮影後すぐに再生して、不要な画像を削除することができます。

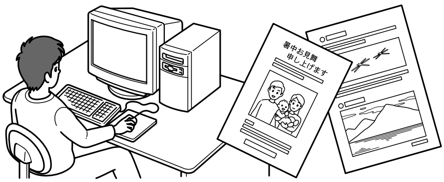
画像を撮る：15ページ
画像を見る：20ページ
画像を消す：44ページ



パソコンに取り込めます

撮影した画像をフロッピーディスクに入れ、パソコンに取り込み、パソコンのソフトウェアを使って、画像処理をしたり、Eメールに添付したりできます。

パソコンで画像を見る：21ページ

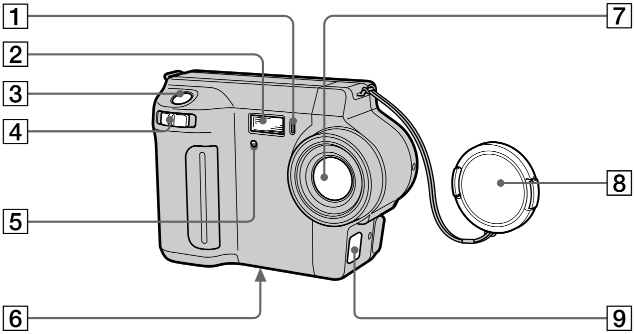


デジタルスチルカメラならではの撮影を状況に応じて楽しめます

Eメールに適した画像を撮る：33ページ
書類などの文字を撮る：33ページ

各部のなまえを確認する

使いかたの説明は、（　）内のページにあります。



1 **セルフタイマーランプ**（18）

2 **フラッシュ**（19）

3 **シャッターボタン**（15）

4 **ズームレバー**（17）

5 **調光窓**
撮影時にふさがないようにする。

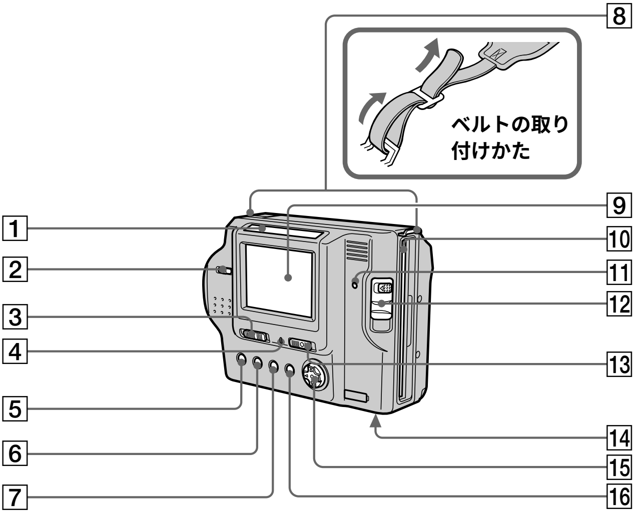
6 **三脚用ネジ穴（底面）**
ネジの長さが6.5 mm未満の三脚をお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

7 **レンズ**

8 **レンズキャップ（付属）**

9 DC　IN**端子カバー**（ディーシー イン）／DC　IN**端子**（ディーシーイン）（8、11）

各部のなまえを確認する（つづき）



1 **外光取入窓**
太陽光などが入ると液晶画面がより明るくなります。

エルシーディー バックライト
2 LCD BACKLIGHT**スイッチ**（17）

プレイ　スチル
3 PLAY/STILL**スイッチ**（15、20、25）

パワー　オン　オフ　チャージ
4 POWER ON/OFF（CHG）**ランプ**（8、12）

5 **ϟ（フラッシュ）ボタン／ϟ（フラッシュ）ランプ**（19）

フォーカス
6 FOCUS**ボタン**（34）

プログラム　エーイー
7 PROGRAM AE**ボタン**（35）

8 **ベルト取り付け部**

9 **液晶画面**

10 **フロッピーディスク挿入口**（14）

11 **アクセスランプ**（15、16）

ディスク　イジェクト
12 DISK EJECT**レバー**（14）

パワー
13 POWER**スイッチ**（12）

14 **バッテリーカバー**（7）

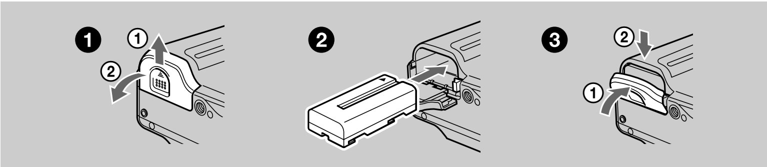
15 **コントロールボタン**（12、25）

ディスプレイ
16 DISPLAY**ボタン**（18）

電源を準備する

バッテリーを本体に入れる

本機の電源には“ インフォリチウム ”バッテリー* （Lシリーズ）NP-F330（付属）／F550（別売り）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。
“ インフォリチウム ”バッテリーについて、詳しくは52ページをご覧ください。



❶ **バッテリーカバーを開ける。**

矢印の方向に開けます。

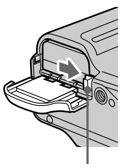
❷ **バッテリーを入れる。**

バッテリーの▲マークを奥にして入れます。

❸ **バッテリーカバーを閉める。**

バッテリーを取り出す

バッテリーカバーを開け、バッテリー取りはずしレバーをずらして取り出してください。
取り出すときは、バッテリーが落下しないようにご注意ください。



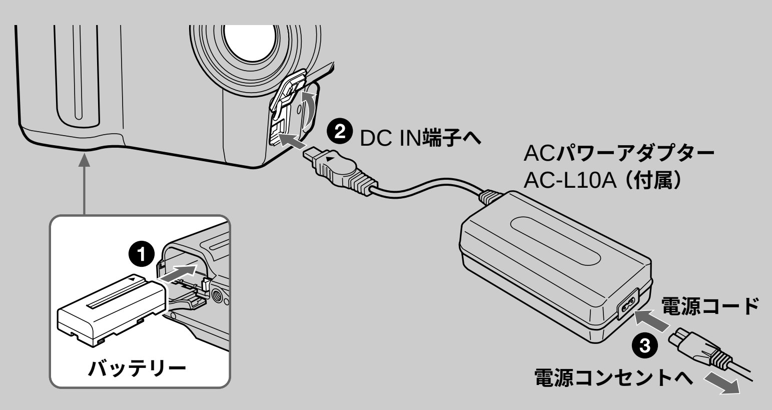
バッテリー取りはずしレバー

* **InfoLITHIUM L（“ インフォリチウム ”）バッテリーとは**

InfoLITHIUM L（“ インフォリチウム ”）に対応している機器とバッテリーの使用状況に関するデータ通信を行うことができるバッテリーです。本機はInfoLITHIUM L（“ インフォリチウム ”）対応です。“ InfoLITHIUM（インフォリチウム）”はソニー株式会社の商標です。

バッテリーを充電する

本機の電源が入っていると、バッテリーを充電できません。
必ず本機の電源を切っておいてください。



❶ バッテリーを本体に入れる。

❷ DC IN端子カバーを開け、▲マークを上にして、本機のDC IN端子につなぐ。

❸ 電源コードをACパワーアダプターとコンセントにつなぐ。
充電が始まると、液晶画面の下のPOWER ON/OFF（CHG）ランプがオレンジ色に点灯します。
充電が終わると、POWER ON/OFF（CHG）ランプが消えます**（満充電）**。

バッテリーの充電が終わったら

ACパワーアダプターを本機のDC IN端子から取りはずしてください。

バッテリー残量時間表示

撮影／再生できる残り時間を液晶画面に表示します。
使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。
室温10°C〜30°Cで充電することをおすすめします。

バッテリーNP-F330（付属）／F550（別売り）について

寒冷地での撮影や液晶画面を使っての撮影では使用時間が短くなります。寒冷地でお使いになる場合は、バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前に本機に取り付けてください。カイロをお使いの場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

オートパワーオフ機能

撮影中に本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。そのまま使いたいときは、POWERスイッチを右側にずらして電源を入れ直してください。

充電中のPOWER ON/OFF（CHG）ランプについて

以下の場合、POWER ON/OFF（CHG）ランプが点滅することがあります。
- バッテリーが故障しているとき（56ページ）

以下の場合、POWER ON/OFF（CHG）ランプが点灯しません。
- バッテリーが正しく取り付けられていないとき

充電時間

バッテリー	満充電時間
NP-F330（付属）	約150分
NP-F550	約210分

使い切ったバッテリーを25°Cで充電したときの時間です。

バッテリーの使用時間と撮影／再生可能枚数

画像を撮影／再生するとき

	NP-F330（付属）		NP-F550	
	使用時間	撮影／再生枚数	使用時間	撮影／再生枚数
連続撮影時*	約70分	約750枚	約150分	約1600枚
連続再生時**	約80分	約2200枚	約170分	約4800枚

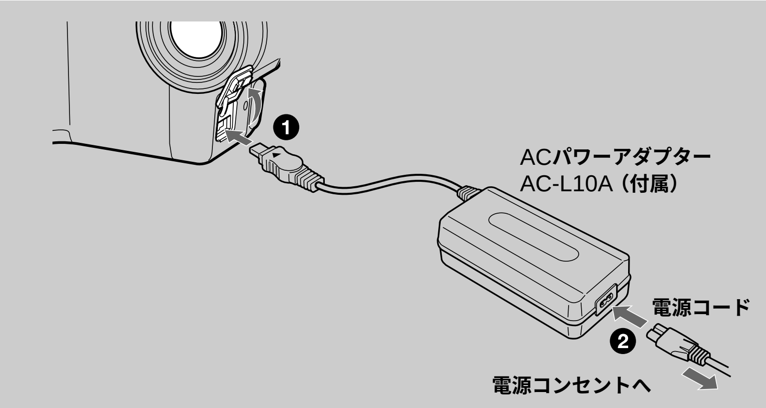
満充電して25°Cで使用したときの場合。
画像サイズが640×480、撮影モードが通常撮影の場合。
* 約5秒ごとに撮影
** 約2秒ごとにシングル画面を順番に再生

電源を準備する（つづき）

ご注意

- 低温で使用したり、フラッシュを使った操作、電源の入／切、ズームを繰り返すと、使用時間は短く、撮影／再生枚数は少なくなります。
- フロッピーディスクの容量は限られています。上記の時間と枚数はフロッピーディスクを交換しながら連続撮影／再生したときの目安です。
- バッテリー残量表示時間が充分なのに電源がすぐ切れるときは満充電すると正しく表示されます。
- ACパワーアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

外部電源を使用する



❶ **DC IN端子カバーを開け、▲マークを上にして、本機のDC IN端子につなぐ。**

❷ **電源コードをACパワーアダプターとコンセントにつなぐ。**

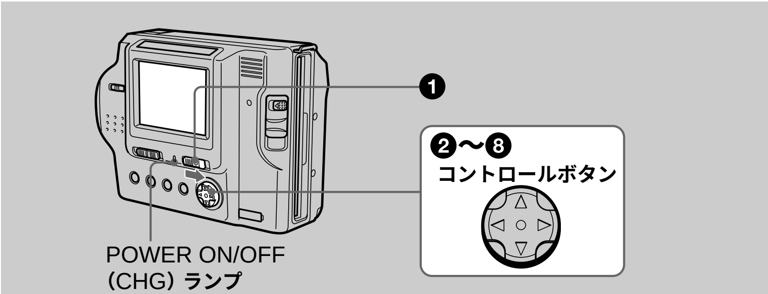
自動車電源は
別売りのDCアダプター／チャージャーでご利用いただけます。

海外でも充電できます
詳しくは61ページをご覧ください。

ACパワーアダプターは
コンセントの近くでお使いください。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

日付・時刻を合わせる

本機をはじめて使うときは、日付・時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れるたびに日付設定画面が表示されます。

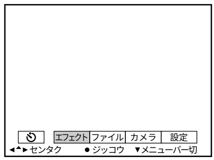


❶ POWERスイッチを矢印の方向にずらして、電源を入れる。

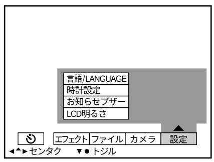
POWER ON/OFF（CHG）ランプが緑色に点灯します。

❷ コントロールボタンの▲を押す。

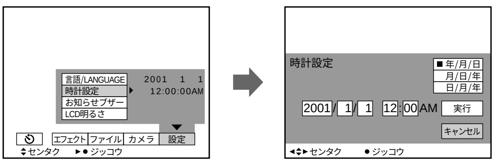
メニューバーが表示されます。



❸ コントロールボタンの▶で[設定]を選び、中央の●を押す。

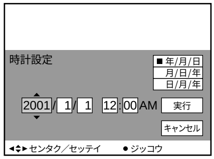


❹ コントロールボタンの▲/▼で［時計設定］を選び、中央の●を押す。



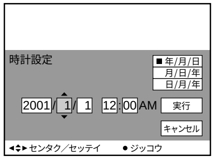
❺ **コントロールボタンの▲/▼で年月日の表示順を選び、中央の●を押す。**

［年/月/日］［月/日/年］［日/月/年］の中から選びます。



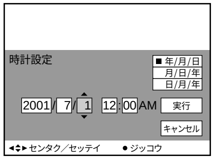
❻ **コントロールボタンの◀/▶で設定する年、月、日、時、分の項目を選ぶ。**

設定する項目の上下に▲/▼が表示されます。



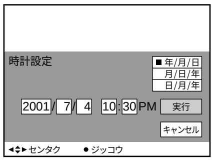
❼ **コントロールボタンの▲/▼で数値を設定して、中央の●を押す。**

数値が確定され、次の項目に移ります。
手順❺で［日/月/年］を選んだときは、24時間表示で設定してください。



❽ **コントロールボタンの▶で[実行]を選び、時報と同時に中央の●を押す。**

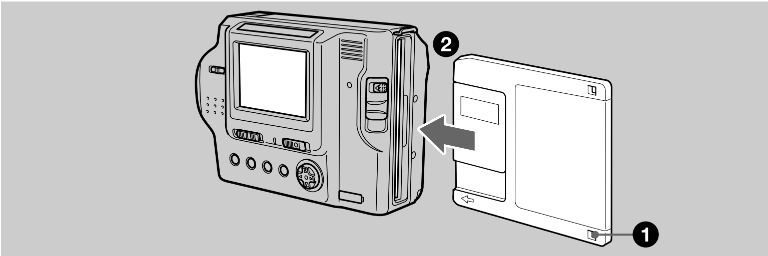
日付・時刻が設定されます。



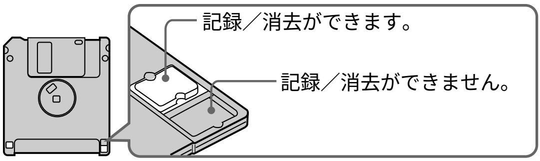
中止するには

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で［キャンセル］を選び、中央の●を押してください。

フロッピーディスクを入れる



❶ 撮影するときは、誤消去防止タブが記録／消去できる位置になっているか確認する。



❷ フロッピーディスクをカチッと音がするまで差し込む。

使えるフロッピーディスク

- サイズ：3.5インチ
- タイプ：2HD（1.44Mバイト）
- フォーマット：MS-DOS（DOS/V）フォーマット（512バイト×18セクタ）

上記以外に、"メモリースティック"*（別売り）をメモリースティック用フロッピーディスクアダプターMSAC-FD2M/FD2MA（別売り）に装着しても使えます。

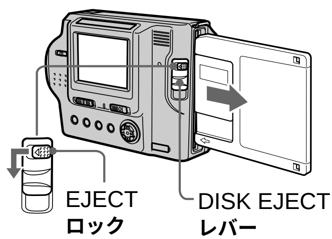
* "Memory Stick"（"メモリースティック"）および MEMORY STICK はソニー株式会社の商標です。

ご注意

- 上記以外のメディアは挿入しないでください。
- アクセスランプが点灯しているときは、絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

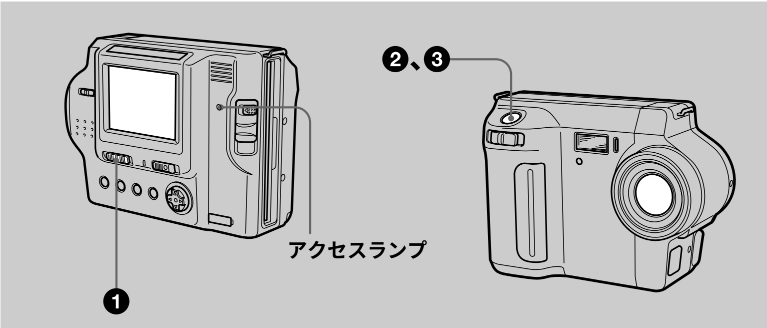
フロッピーディスクを取り出す

EJECTロックを左側にずらしたまま、DISK EJECTレバーを下にずらしてください。



画像を撮る

画像をJPEG（ジェイペグ）形式で記録します。
POWERスイッチで電源を入れ、フロッピーディスクを入れておきます。



❶ PLAY/STILL**スイッチを「**STILL**」にする。**

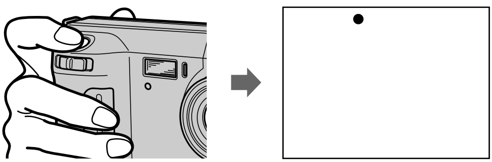
❷ シャッターを軽く押す。

ピピッと音がして、液晶画面の画像が止まります。**このときはまだ、撮影されていません。**

本機は被写体をとらえて露出・フォーカスを自動調節しています。自動調節が終わると、点滅していたAEロック表示が点灯に変わります。**点灯すると撮影可能です。**

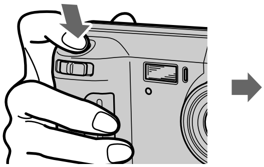
このときシャッターを離すと、撮影を中止します。

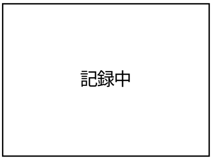
AE**ロック表示（緑）が点滅 → 点灯**



❸ シャッターを深く押し込む。

ブザー音がして、撮影されます。
画面に「記録中」と表示され、画像がフロッピーディスクに記録されます。
「記録中」の文字が消えたら、次の撮影ができます。





フロッピーディスク1枚に記録できる枚数は
32ページをご覧ください。

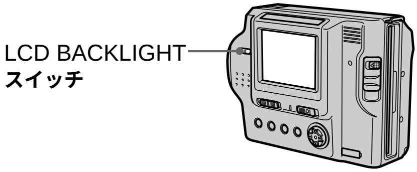
ご注意

- **"メモリースティック"への書き込みや読み出しには、フロッピーディスクの場合の約2倍の時間がかかります。**
- 明るい被写体を撮影する場合、AEロック後に液晶画面の色合いが変わることがありますが、記録される画像に影響はありません。
- フロッピーディスクに書き込み中はアクセスランプが点灯します。点灯中は、本機に振動や強い衝撃を絶対に与えないでください。また、電源を切ったり、フロッピーディスクやバッテリーを取り出したりしないでください。画像データが壊れたり、フロッピーディスクが使えなくなることがあります。
- シャッターをそのまま押し込んだ場合は、自動調節後撮影します。ただし、以下のときには撮影できません。
  – 撮影状況がフラッシュが必要な状態で、⚡（フラッシュ）ランプ（6ページ）が点滅しているとき

最後に撮影した画像を確かめる（クイックレビュー）

メニューバーを消し（26ページ）、コントロールボタンの◀を押すと、最後に撮影した画像が表示されます。
通常の撮影モードに戻るには：シャッターボタンを軽く押す。または、画面上の［戻る］をコントロールボタンの◀/▶で選び、中央の●を押す。
画像を削除するには：画面上の［削除］をコントロールボタンの◀/▶で選び、中央の●を押し、さらに［実行］を選んでから●を押す。

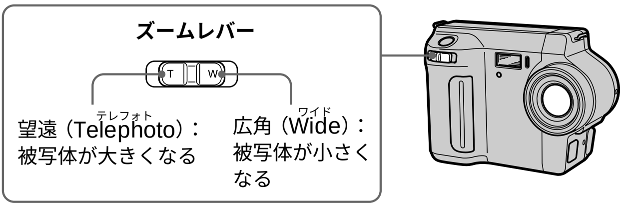
液晶画面の明るさを調節する



メニューの［LCD明るさ］で調節します（31ページ）。
フロッピーディスクに書き込まれる画像の明るさには影響ありません。

液晶バックライトを消すには
バッテリーを長持ちさせたいときは、LCD BACKLIGHTスイッチを「OFF」にしてください。

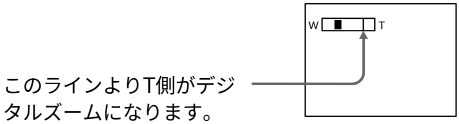
ズームする



近くの被写体にピントがうまく合わないときは
ズームレバーをW側に動かして広角にし、本機を被写体に近づけて撮影してください（34ページ）。

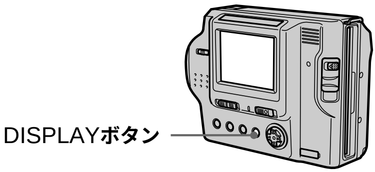
ピントを合わせるために必要な被写体までの距離は
W側：約25 cm以上
T側： 約60 cm以上
さらに近くを撮影するときは、34ページをご覧ください。

本機はデジタルズーム機能を搭載しています
デジタルズームは、画像をデジタル処理して拡大します。ズームが3倍を超えるとデジタルズームになります。



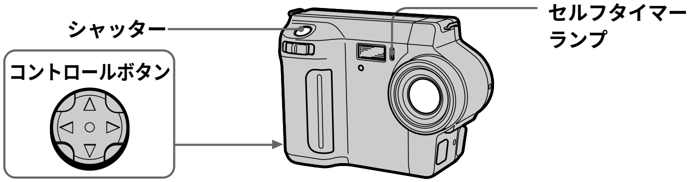
デジタルズームを使うと
- ズーム最大倍率は6倍になります。
- 画質は低下します。デジタルズームを使う必要がないときは、メニューで［デジタルズーム］を［切］にします（29ページ）。

撮影中の画面上の表示は
DISPLAYボタンを押して、出したり消したりできます。
表示される項目について詳しくは、62ページをご覧ください。



ご注意
- セルフタイマー表示と応用操作での一部の表示は消すことができません。
- 画面上の表示は記録されません。

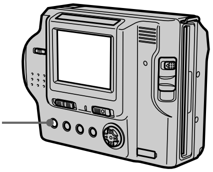
セルフタイマーで撮影する
セルフタイマーを使用すると、10秒後に撮影が始まります。



コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で画面上の⏲を選び、中央の●を押します。画面に⏲（セルフタイマー）が表示され、シャッターを押してから10秒後に撮影されます。その間、セルフタイマーランプが点滅します。

フラッシュを使って撮影する

お買い上げ時は「AUTO」（表示なし）に設定されており、周囲が暗くなると自動的に発光します。「AUTO」以外に設定するときは、⚡（フラッシュ）ボタンを繰り返し押し、希望のフラッシュ表示を出します。



⚡（フラッシュ）ボタン

ボタンを押すたびに、以下のように表示が変わります。

（表示なし）→👁→⚡→Ⓢ→（表示なし）

👁「AUTO赤目軽減」：撮影前に予備発光し、目が赤く写ることを抑制します。

⚡「強制発光」：周囲の明るさに関係なく発光します。

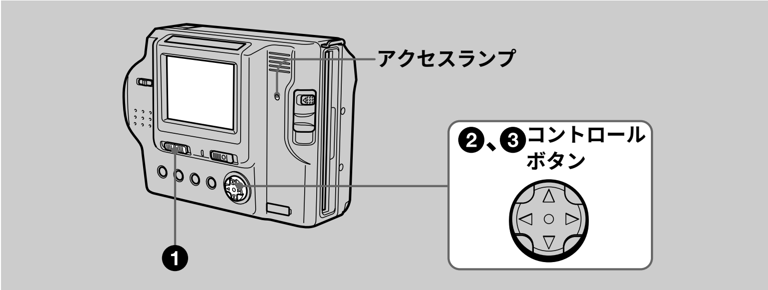
Ⓢ「発光禁止」：発光しません。

発光量は、メニューの［フラッシュレベル］で変えることができます（30ページ）。

ご注意

- 内蔵フラッシュの推奨撮影距離は0.3 m～2.5 mです。
- コンバージョンレンズ（別売り）をつけていると、フラッシュの光をさえぎり、レンズの影が映る（ケラレる）ことがあります。
- 👁 AUTO赤目軽減では、個人差や被写体までの距離、予備発光を見ていないなどの条件により赤目の軽減効果が現れにくいことがあります。
- 明るい場面で強制発光を使うとフラッシュ効果が得られにくいことがあります。

画像を見る



❶ PLAY/STILL**スイッチを「**PLAY**」にする。**

アクセスランプが点灯し、最後に撮影した画像が表示されます。

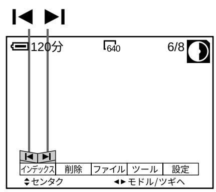
❷ **コントロールボタンの▲を押してメニューバーを表示する。**

❸ **コントロールボタンで画像を選ぶ。**

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して液晶画面に表示されている**I◀/▶I**ボタンを選び、◀/▶を押します。

I◀：前の画像を見るとき。

▶I：次の画像を見るとき。



メニューバーを表示していないときは

コントロールボタンの◀/▶で画像を選ぶことができます。

ご注意

- 本機で記録した画像は、本機以外の機器で正しく再生できないことがあります。
- 本機で記録できる最大画像サイズより大きい画像は、本機で再生できないことがあります。

画像再生中の画面上の表示は

DISPLAYボタンを押して、出したり消したりします。

表示される項目について詳しくは、63ページをご覧ください。

パソコンで画像を見る

本機で撮影した画像データを、パソコンにインストールされたソフトウェアを使って加工したり、Eメールに添付したりできます。ここでは、一般的なパソコンでの画像の見かたを説明します。パソコンやアプリケーションソフトの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

本機で撮影したデータは以下の形式で保存されています。それぞれのファイル形式に対応したアプリケーションがパソコンにインストールされていることをご確認ください。
画像（テキストモード以外）：JPEG形式
テキストモードの画像：GIF形式

推奨OS／アプリケーション例

OS
- Windows 3.1
- Windows 95
- Windows 98
- Windows 98SE
- Windows Me
- Windows 2000 Professional
- Windows NT 3.51
- Windows NT 4.0など

アプリケーション
- Microsoft Internet Explorer 4.0以降
- Netscape Navigator など

お手持ちのパソコンにInternet Explorerのようなブラウザソフトがインストールされている場合、本機で撮影されたフロッピーディスク内の［Mavica.htm］をダブルクリックすると記録されている画像の一覧リストが表示されます。

パソコンで画像を見る（つづき）

ご注意

- MacintoshではMac OS システム7.5以降のPC Exchangeを使うと、本機で撮影したフロッピーディスクを使用することができます。画像を開くにはMacintosh用アプリケーションが別途必要です。
- メモリースティック用フロッピーディスクアダプターMSAC-FD2M/FD2MA（別売り）をご使用の場合の推奨OSは、Windows 95、Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows NT 4.0またはWindows 2000 Professional、Mac OS 7.6.1〜8.6です。

- MicrosoftおよびWindows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshおよびMac OSは、Apple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

画像を見る

例：Windows 98**をお使いの場合**

❶ パソコンを起動し、フロッピーディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブに入れる。

❷ [マイコンピュータ] を開き、[3.5**インチ**FD (A:)**] をダブルクリックする。**

❸ 再生したいファイルをダブルクリックする。

画像ファイルの保存先とファイル名について

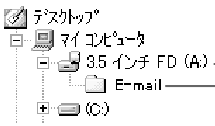
本機で撮影した画像ファイルは、撮影モードごとにフォルダにまとめられています。フロッピーディスクに記録された画像のファイル名と“ メモリースティック ”に記録された画像のファイル名はそれぞれ異なります。ファイル名の意味は以下の通りです。

フロッピーディスク使用時のファイルの保存先とファイル名

□□□には001から999の数字が入ります。
∆には下記の文字が入ります。

S： 画像サイズ640×480で撮影した画像ファイル
F： 画像サイズが640×480よりも大きい画像ファイル

例：Windows 98（**フロッピーディスクが認識されたドライブは**A）



3.5 インチ FD (A:)：画像データなどが入っている
E-mail：Eメールモードの画像データが入っているフォルダ

この場所の中にある	このファイルは	こういう意味
3.5インチFD（A:）	MVC-□□□∆.JPG	• 通常撮影した画像ファイル • Eメールモードで撮影した画像ファイル（33ページ）
	MVC-□□□∆.411	インデックス表示用ファイル 本機以外で再生できません。
	MVC-□□□T.GIF	テキストモードで撮影した画像ファイル（33ページ）
［E-mail］フォルダ	MVC-□□□E.JPG	Eメールモードで撮影した小サイズ画像ファイル（33ページ）

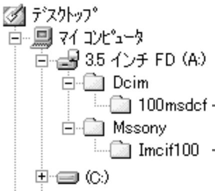
• 下記のファイルの数字部分は同じになります。
  – Eメールモードで撮影した画像ファイルとその小サイズ画像ファイル
• インデックス表示用ファイルは本機以外で再生できません。

画像ファイルの保存先とファイル名について（つづき）

“メモリースティック”使用時のファイルの保存先とファイル名

□□□□には0001から9999の数字が入ります。

例：Windows 98（**メモリースティック用フロッピーディスクアダプターが認識されたドライブは**A）



画像データが入っているフォルダ

Eメールモードの画像データが入っているフォルダ

この場所の中にある	このファイルは	こういう意味
100msdcf	DSC0□□□□.JPG	• 通常撮影した画像ファイル • Eメールモードで撮影した画像ファイル（33ページ）
	TXT0□□□□.GIF	テキストモードで撮影した画像ファイル（33ページ）
Imcif 100	DSC0□□□□.JPG	Eメールモードで撮影した小サイズ画像ファイル（33ページ）

下記のファイルの数字部分は同じになります。
– Eメールモードで撮影した画像ファイルとその小サイズ画像ファイル

ちょっと一言

デジタルスチルカメラは撮影した画像をデジタルデータで保存します。このデジタルデータの形式をファイル形式といい、本機は以下の形式を採用しています。

JPEG形式

ほとんどのデジタルスチルカメラやパソコンのOS/ブラウザソフトで採用されている画像圧縮形式です。撮影した画像データを、見た目をあまり変えずに圧縮/保存できます。反面、圧縮/保存をくりかえすと画像が劣化します。本機では通常の画像撮影時、JPEG形式で画像を保存します。

GIF形式

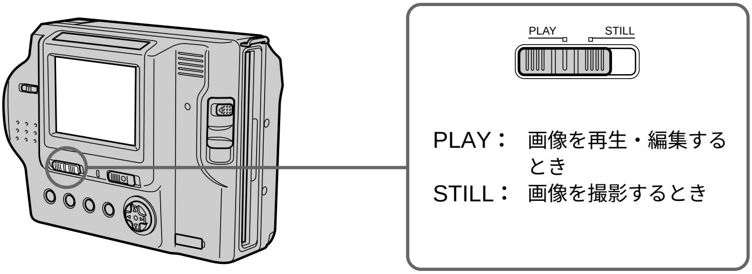
圧縮/保存をくり返しても画像が劣化しない画像の圧縮形式です。色を256色に制限します。本機ではテキストモード（33ページ）での撮影時にGIF形式で画像を保存します。

応用操作の前に

ここでは、「応用操作」でよく使われるスイッチやボタンの使いかたをまとめて説明します。

PLAY/STILLスイッチの使いかた

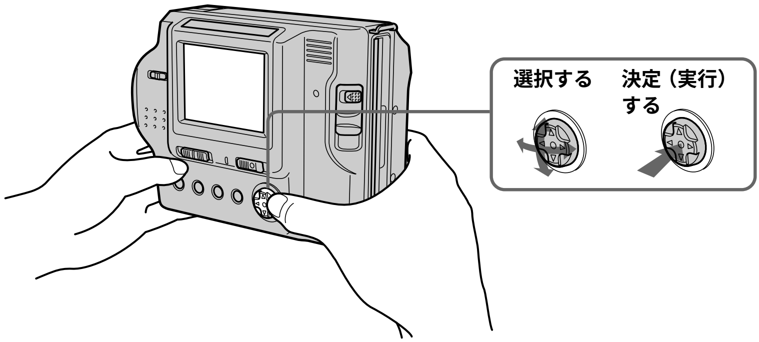
本機を使って撮影するのか、再生・編集するのかを切り換えるスイッチです。操作を始める前に、あらかじめ以下のように切り換えます。



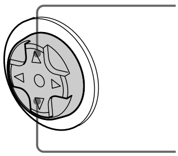
PLAY：　画像を再生・編集するとき
STILL：　画像を撮影するとき

コントロールボタンの使いかた

本機はコントロールボタンで画面上のボタンや画像、メニューを選び操作します。ここでは応用操作編でよく使われる操作方法を説明します。

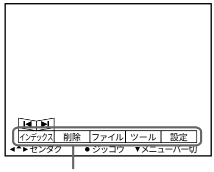


画面上の操作ボタン（メニューバー）を表示／消去する



▲を押すと、画面上にメニューバーを表示する。

▼を押すと、画面上のメニューバーが消える。



メニューバー

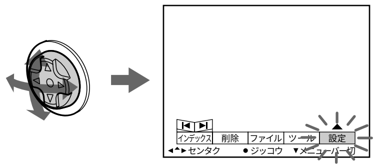
ご注意

インデックス画面表示（40ページ）のとき、メニューバーを消すことはできません。

画面上の項目や画像を選択する

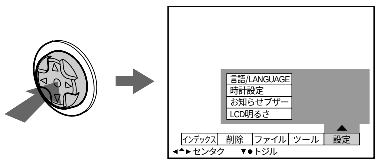
❶ **コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押し、設定したい項目や表示したい画像を選ぶ。**

選ばれた項目や画像の枠は青色から黄色に変わります。



❷ **コントロールボタンの中央の●を押して、決定（実行）する。**

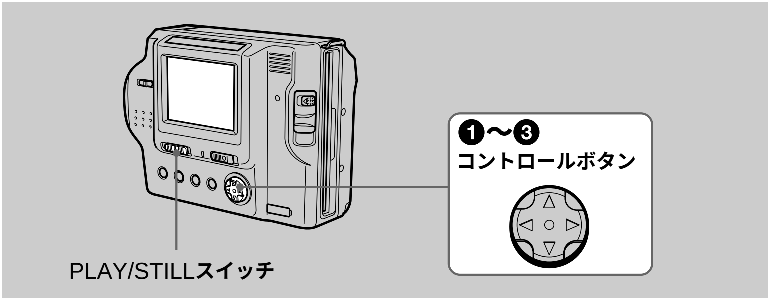
❶と❷を繰り返して各機能を操作します。



この取扱説明書の応用操作編では、上記の手順で項目を選び、実行することを「[(項目名)] を選択する」と表記しています。

メニューでの設定の変えかた

本機の応用操作の一部は、画面上に表示されるメニュー項目をコントロールボタンで選択して操作します。

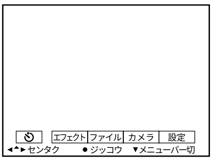


---

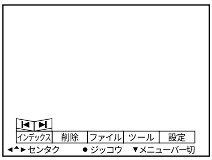
❶ コントロールボタンの▲を押してメニューバーを表示する。

メニューバーはPLAY/STILLスイッチの設定によって、下記のように変わります。

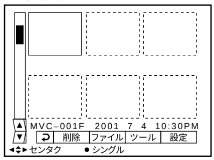
「STILL」のとき



「PLAY」（シングル画面表示）のとき



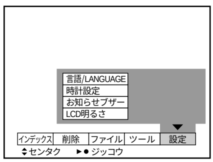
「PLAY」（インデックス画面表示）のとき



---

❷ コントロールボタンの▲/▼/◄/►で選択したい項目を選び、中央の●を押す。

各項目は、選択されると青色から黄色に変わり、コントロールボタンの中央の●を押すと、設定できる項目が表示されます。



---

❸ コントロールボタンの▲/▼/◄/►で希望の設定項目を選び、中央の●を押す。

中止するには

コントロールボタンの▼を手順❶のメニューバー表示画面に戻るまで押します。

メニューバーを消したいときは、もう1度押します。

設定項目の説明

PLAY/STILLスイッチの位置によって操作できる項目は変わります。画面には、使える項目のみが表示されます。■印はお買い上げ時の設定です。

◎（セルフタイマー）

セルフタイマー撮影をする（18ページ）。

エフェクト

項目	設定	意味	PLAY/STILLスイッチ
ピクチャーエフェクト	ソラリ モノトーン セピア ネガアート ■ 切	画像の特殊効果を設定する（39ページ）。	「STILL」
日付／時刻	日時分 年月日 ■ 切	画像に日付や時刻を挿入するかどうか設定する（39ページ）。	「STILL」

ファイル

項目-1	項目-2	設定	意味	PLAY/STILLスイッチ
ディスクツール	フォーマット	実行	フロッピーディスクを初期化（フォーマット）する（49ページ）。初期化すると、プロテクトしてある画像もふくめて、フロッピーディスクに記録されているすべての画像が消去されます。ご注意ください。	「PLAY」 「STILL」
		キャンセル	中止する。	
	ディスクコピー	実行	フロッピーディスクのすべての内容を他のフロッピーディスクにコピーする（47ページ）。	
		キャンセル	中止する。	
	キャンセル		[フォーマット]または[ディスクコピー]を中止して、[ディスクツール]に戻る。	

ファイル

項目	設定	意味	PLAY/STILL スイッチ
ファイル番号	連番 ■ 標準	フロッピーディスクを取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。 フロッピーディスクごとにファイル番号を001から付ける。	「STILL」
画像サイズ	■ 1280×960 1280(3:2) 1024×768 640×480	画像撮影時に画像のサイズを選ぶ。	「STILL」
撮影モード	テキスト Eメール ■ 通常撮影	GIFファイルで白黒撮影する。 設定されている画像サイズと別に小サイズ(320×240)のJPEGファイルを記録する。 通常の撮影をする。	「STILL」
スライドショー(シングル画面のときのみ)	間隔設定 繰り返し スタート キャンセル	スライドショーの間隔を設定する。 ■3秒/5秒/10秒/30秒/1分 20分までスライドショーを繰り返す。 ■入/切 スライドショーを実行する。 スライドショーの設定および実行を中止する。	「PLAY」
プリントマーク	入 ■ 切	プリントしたい画像を選ぶ(48ページ)。 画像のプリントマークをとる。	「PLAY」
プロテクト	入 ■ 切	画像に誤消去防止指定をする(43ページ)。 誤消去防止指定を解除する。	「PLAY」

カメラ

項目	設定	意味	PLAY/STILL スイッチ
デジタルズーム	■ 入 切	デジタルズームを使う。 デジタルズームを使わない。	「STILL」
シャープネス	+2~−2	画像のシャープネスを調節する。設定を0にしていないときは、画面に が出る。	「STILL」

応用操作の前に（つづき）

カメラ

項目	設定	意味	PLAY/STILL スイッチ
ホワイトバランス	屋内 屋外 ホールド ■ オート	ホワイトバランスを設定する（38ページ）。	「STILL」
フラッシュレベル	明 ■ 標準 暗	フラッシュの発光量を通常より多くする。 通常の設定。 フラッシュの発光量を通常より少なくする。	「STILL」
EV補正	+2.0EV～−2.0EV	撮影前に露出を調節する。	「STILL」

ツール

項目	設定	意味	PLAY/STILL スイッチ
コピー	実行 キャンセル	画像をコピーする（45ページ）。 画像のコピーを中止する。	「PLAY」
リサイズ（シングル画面のときのみ）	1280×960 1024×768 640×480 キャンセル	撮影した画像の画像サイズを変更する（45ページ）。	「PLAY」

設定

項目	設定	意味	PLAY/STILL スイッチ
デモモード	■ 入/スタンバイ 切	外部電源使用時のみ表示される項目。お買い上げ時は、［スタンバイ］に設定されている。電源を入れ、PLAY/STILLスイッチを「STILL」にしたまま約10分放置すると、デモンストレーションが始まる。電源を切ると終了する。	「STILL」
言語/LANGUAGE	ENGLISH ■ 日本語／JPN	メニュー項目を英語で表示する。 メニュー項目を日本語で表示する。	「PLAY」 「STILL」
時計設定	−	時計を合わせ直す（12ページ）。	「PLAY」 「STILL」

設定

項目	設定	意味	PLAY/STILL スイッチ
お知らせブザー	シャッター ■ 入 切	シャッターボタンを押したとき、ブザー音が鳴る。 コントロールボタン／シャッターボタンを押したときなどに、ブザー音が鳴る。 音は鳴らない。	「PLAY」 「STILL」
LCD明るさ		画面上の＋／−ボタンで液晶画面の明るさを調節する。	「PLAY」 「STILL」

インデックス（シングル画面のときのみ）

インデックス画面表示にする。

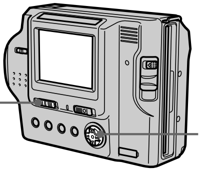
削除（シングル画面のときのみ）

設定	意味	PLAY/STILLスイッチ
実行	表示中の画像を削除する。	「PLAY」
キャンセル	削除を中止する。	

⮌（戻る）（インデックス画面のときのみ）

シングル画面表示に戻る。

画像サイズを設定する



1 **PLAY/STILLスイッチを「STILL」にする。**

2 **メニューから［ファイル］→［画像サイズ］の順に選択する。**

3 **画像サイズを選択する。**

1280×960、1280（3:2）*、1024×768、640×480

* プリント紙の横縦比3：2に合うように、画像を3：2で撮影します。プリントしたときに余白が出ません。撮影時には、液晶画面（横縦比4：3）に映った撮影範囲の上下を切って画像を記録しますのでご注意ください。

フロッピーディスク1枚に記録できる枚数は

画像サイズ	撮影枚数*
1280×960	約6枚（32枚）
1280（3:2）	約6枚（32枚）
1024×768	約10枚（52枚）
640×480	約30枚（159枚）

（　）内は8 MBの“メモリースティック”（別売り）に記録した場合。

* 撮影モードが[通常撮影]の場合

ご注意

ディスク残量表示が残っていても、1枚のフロッピーディスクに55枚以上記録しようとすると「ディスクがいっぱいです」が出て撮影不能になります。

ちょっと一言

デジタルスチルカメラでは撮影画像のサイズを1280×960ピクセル、というふうに「ピクセル」で表します。ピクセル数は大きいほど画像情報が多く、パソコンでの画像加工や大判プリントに向いています。小さければEメール添付などに便利です。通常、デジタルスチルカメラの画像はパソコンモニターのサイズに合わせて横縦比4：3で撮影されますが、本機ではプリンターの用紙サイズ（3：2）も選択できます。これは、街のDPEショップで写真を現像したときと同じサイズです。



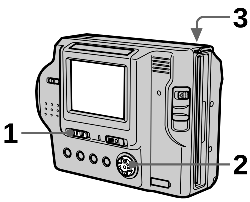
1280×960



1280（3：2）

Eメールに適した画像を撮る – Eメールモード

画像と同時に小サイズ（320×240）の画像を記録します。小サイズ画像はEメール添付時に便利です。保存形式はJPEG形式です。



1 **PLAY/STILLスイッチを「STILL」にする。**

2 **メニューから［ファイル］→［撮影モード］→［Eメール］の順に選択する。**

3 **撮影する。**

Eメールモード時、フロッピーディスク1枚に記録できる枚数は

画像サイズ	撮影枚数
1280×960	約5枚（30枚）
1280（3:2）	約5枚（30枚）
1024×768	約8枚（47枚）
640×480	約22枚（120枚）

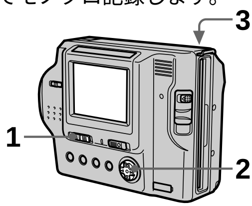
（　）内は8 MBの“ メモリースティック ”（別売り）に記録した場合。

通常撮影モードに戻るには

手順**2**で［通常撮影］を選択します。

書類などの文字を撮る – テキストモード

文字がはっきりと映るように、GIF（ジフ）形式でモノクロ記録します。



1 **PLAY/STILLスイッチを「STILL」にする。**

2 **メニューから［ファイル］→［撮影モード］→［テキスト］の順に選択する。**

3 **撮影する。**

テキストモード時、フロッピーディスク1枚に記録できる枚数は

画像サイズ	撮影枚数*
1280×960	最少7枚（40枚）
1280（3:2）	最少8枚（44枚）
1024×768	最少11枚（61枚）
640×480	最少28枚（160枚）

（　）内は8 MBの“ メモリースティック ”（別売り）に記録した場合。

* 文字の量など内容によって撮影最大枚数は変わります。

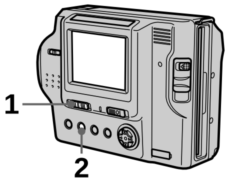
通常撮影モードに戻るには

手順**2**で［通常撮影］を選択します。

ご注意

- 被写体に均等に光が当たらないと、うまく撮影できないことがあります。
- データの書き込み／読み出しに通常撮影よりも時間がかかります。

被写体に接近して撮る
– マクロ撮影



1 PLAY/STILL**スイッチを「STILL」にする。**

2 FOCUS**ボタンを繰り返し押して、を表示させる。**

ズームをW側いっぱいに合わせると、約3 cmまでマクロ撮影できます。

通常の撮影モードに戻すには

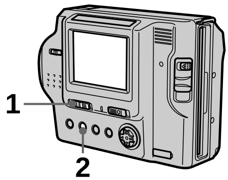
FOCUSボタンを繰り返し押して、/表示を消します。

ご注意

- 次のプログラムAEのモードのときは、マクロ撮影ができません。
  ―風景モード
  ―パンフォーカスモード
- 表示が出たときは、マクロ撮影できません。

被写体までの距離を設定する

通常は、自動的にピントの調節が行われています。暗いところで自動ピント調節が効きにくいときにこの機能を使うと便利です。



1 PLAY/STILL**スイッチを「STILL」にする。**

2 FOCUS**ボタンを繰り返し押して、ピントが合う位置を選ぶ。**

手動ピント合わせ表示が表示されます。ピントは下記の6つの設定から選べます。
（マクロ）、0.5 m、1.0 m、3.0 m、7.0 m、∞（無限遠）

自動調節に戻すには

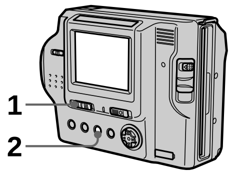
FOCUSボタンを繰り返し押して、/表示を消します。

ご注意

- フォーカス距離情報は正確な距離ではありません。目安として使用してください。
- コンバージョンレンズ装着時はフォーカス距離情報が正しく表示されません。
- ズームレバーがT側にある場合、約0.6 m以内のフォーカスが正しく合わないことがあります。その場合、フォーカス距離情報が点滅します。点滅しなくなるまで、ズームレバーをW側に動かしてください。
- プログラムAEのパンフォーカスモードを選んでいるときは、この機能は使えません。

目的に合わせて撮る

ー プログラムAE



1 PLAY/STILL**スイッチを「STILL」にする。**

2 PROGRAM AE**ボタンを繰り返し押して、希望のモードの表示を出す。**

夜景モード
暗い場所での明るい被写体の色とびをおさえ、暗い雰囲気を損なわずに撮影することができます。

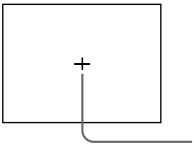
夜景プラスモード
夜景モードの機能をさらに効果的に使用することができます。

風景モード
遠景にピントを合わせることで、遠くの風景などを撮影しやすくします。

パンフォーカスモード
気軽に近くの被写体から遠くの被写体にピントを合わせることができます。

スポット測光モード

逆光のときや被写体と背景とのコントラストが強いときに選びます。撮りたいポイントをスポット測光照準に合わせて撮ります。



プログラムAEを解除するには

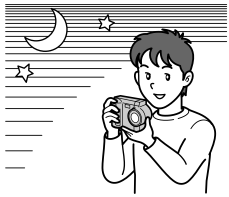
PROGRAM AEボタンを繰り返し押して、画面上のプログラムAE表示を消します。

ご注意

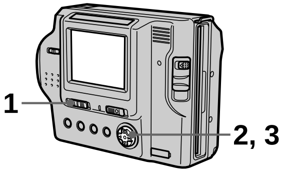
- 風景モードでは、遠景のみにピントが合うようにフォーカスをコントロールします。
- パンフォーカスモードでは、ズームをW側いっぱいにし、フォーカスを固定します。
- 夜景プラスモードで撮影するときは、手ぶれを防ぐため三脚の使用をおすすめします。
- 次のモードでフラッシュを使うときは、強制発光にしてください。
  －夜景モード
  －夜景プラスモード
  －風景モード
- テキストモードで撮影するとき、プログラムAEは選べません。

ちょっと一言

通常の撮影時、本機は周囲の環境にあわせて、ピントやアイリス（絞り）、露出、ホワイトバランスなどを自動調整しています。しかし、この自動調整では撮影意図どおりの画像を撮影できないことがあります。プログラムAEは、あらかじめ撮影状況を想定して最適な調整をプログラムした、いわば半自動調整機能です。



露出を補正する – EV補正



1 PLAY/STILL**スイッチを「STILL」にする。**

2 **メニューから［カメラ］→［EV補正］の順に選択する。**

3 **明るさを選択する。**

背景の映像の明るさを確認しながら調節してください。
1/3 EVごとに＋2.0 EVから－2.0 EVまで変えられます。

ご注意

被写体が極端に明るいときや暗いとき、およびフラッシュ使用時には、設定した補正が効かない場合があります。

ちょっと一言

通常の撮影時、本機は自動で露出を補正しています。撮影画像を確認し、下のイラストのようになっていたら、左記の手順で手動調節することをおすすめします。暗い被写体は＋の方向に、明るい被写体には－方向に調節すると効果的です。

露出不足。
＋方向へ調節。



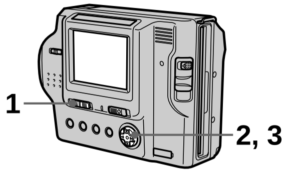
露出過剰。
－方向へ調節。



自然な色合いに調節する

– ホワイトバランス

通常は、自動的にホワイトバランスの調節が行われています。



1 PLAY/STILL**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 メニューから［カメラ］→［ホワイトバランス］の順に選択する。

3 ホワイトバランスの設定を選択する。

屋内（☼）
- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下
- ナトリウムランプや水銀灯の下

屋外（☀）
- 夜景やネオン、花火などを撮るとき
- 日の出、日没などを撮るとき

ホールド（HOLD**）**
ホワイトバランスの調節状態をそのまま保持する

オート（表示なし）
ホワイトバランスを自動調節する

自動調節に戻すには

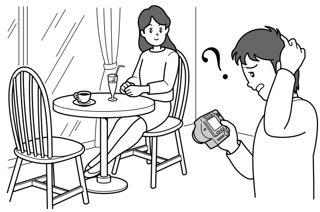
手順**3**で［オート］を選択します。

ご注意

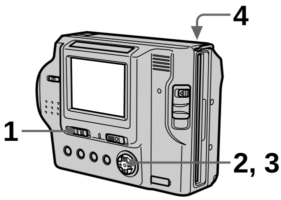
蛍光灯の下で撮影するときは［オート］を選択します。

ちょっと一言

被写体の見ための色は、光の状況に影響されます。夏の太陽のように温度の高い光の下ではすべてのものが白っぽく見え、電球のような温度の低い光源の下では白いものが赤っぽく見えます。人間の目にはすぐれた調節機能があり、光が変わってもすぐに正しい色を認識できます。しかし、デジタルスチルカメラは光の影響を大きく受けます。通常本機は調節を自動で行なっていますが、撮影画像を再生してみて画面全体が不自然に赤い場合などはホワイトバランスの設定をすることをおすすめします。



画像に日付や時刻を入れる – 日付／時刻



1 PLAY/STILL**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 メニューから［エフェクト］→［日付/時刻］の順に選択する。

3 日付・時刻の設定を選択する。

日時分

画像に日時分を挿入する。

年月日

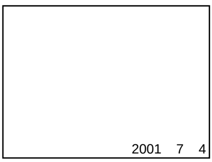
画像に年月日を挿入する。

切

画像に日付・時刻を挿入しない。

4 撮影する。

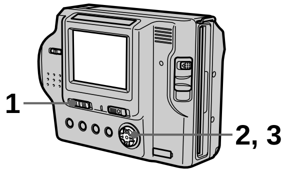
撮影時は日付／時刻は画面に出ません。再生時に表示されます。



ご注意

手順**3**で［年月日］を選んだ場合、「日付・時刻を合わせる」（12ページ）で選んだ表示順の年月日が挿入されます。

画像に特殊効果を与える ー ピクチャーエフェクト



1 PLAY/STILL**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 メニューから［エフェクト］→［ピクチャーエフェクト］の順に選択する。

3 希望のモードを選ぶ。

ソラリ

明暗をはっきりさせたイラストのように

モノトーン

白黒に

セピア

古い写真のような色合いに

ネガアート

写真のネガフィルムのように

切

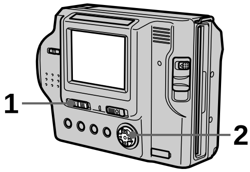
ピクチャーエフェクトを使用しない。

ピクチャーエフェクトを解除するには

手順**3**で［切］を選択します。

6画面表示する

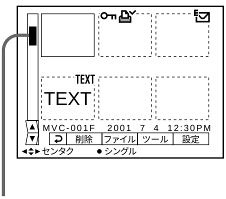
– インデックス画面表示



1 PLAY/STILL**スイッチを「**PLAY**」にする。**

2 **画面上の［インデックス］を選択する。**

6枚の画像が一度に再生されます（インデックス画面）。



現在表示されている画像が全体の撮影枚数のどの部分にあたるか示す

画像の種類と設定により、次のマークが画像に表示されます。

：Eメールファイル

：プリントマーク

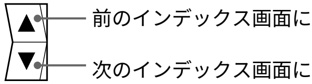
：プロテクトマーク

TEXT：テキストモードマーク

（表示なし）：通常撮影の画像

次（前）のインデックス画面を表示するには

画面左下の▲/▼を選択します。



シングル（1枚表示）画面にするには

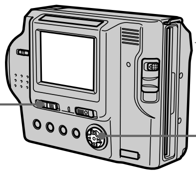
- コントロールボタンで見たい画像を選択します。
- （戻る）を選択します。

ご注意

テキストモードで撮影した画像はインデックス画面表示できません。

画像の一部を拡大する

– 再生ズーム／トリミング



1 **PLAY/STILLスイッチを「PLAY」にする。**

2 **拡大したい画像を表示する。**

3 **ズームレバーで画像をお好みの大きささにする。**

ズーム倍率表示が出ます。

4 **コントロールボタンを繰り返し押して、拡大部分を選択する。**

▲：画像が下に移動します。
▼：画像が上に移動します。
◀：画像が右に移動します。
▶：画像が左に移動します。

拡大表示をやめるには

ズーム倍率表示（🔍×1.1）が消えるまで、画像を縮小するか、コントロールボタンの●を押します。

拡大した画像を記録する（トリミング）

再生ズーム後にシャッターボタンを押すと、画像が640×480サイズで記録され、拡大前の画像表示に戻ります。

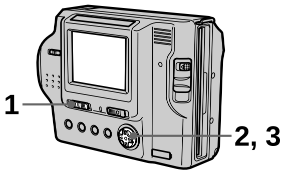
ご注意

- テキストモードで撮影した画像はトリミングできません。
- ズーム倍率は画像サイズに関係なく、元の画像の5倍までです。
- トリミングした画像は画質が劣化するおそれがあります。
- トリミングしても元の画像は残ります。
- トリミングした画像は一番新しいファイルとして記録されます。

画像を順番に再生する

– スライドショー

記録された画像のチェックやプレゼンテーションなどに便利です。



1 PLAY/STILL**スイッチを「**PLAY**」にする。**

2 **メニューから［ファイル］→［スライドショー］の順に選択する。**

下記の設定を選択する。

間隔設定

3秒、5秒、10秒、30秒、1分

繰り返し

入：［戻る］を選択するまで、繰り返し再生される（約20分）。

切：すべての画像が再生されると、スライドショーは終わる。

3 **［スタート］を選択する。**

スライドショーが始まります。

スライドショーの設定を中止するには

手順**2**または**3**で［キャンセル］を選択します。

スライドショー再生中に画像を送る／戻すには

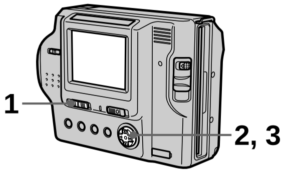
画面左下の**I◀/▶I**を選択します。

ご注意

- [間隔設定]の設定時間は、目安です。画像サイズなどにより変わることがあります。
- [繰り返し]の[入]を選択したときは、すべての画像をひととおり再生し終わるまでは、20分を超えても終了しません。

誤消去防止する
– プロテクト

プロテクト（誤消去防止）した画像には⊶がつきます。



シングル画面表示のとき

1 PLAY/STILL**スイッチを「**PLAY**」にして、プロテクトをかけたい画像を表示する。**

2 **メニューから［ファイル］→［プロテクト］→［入］の順に選択する。**
表示されている画像にプロテクトがかかり、⊶が表示されます。

プロテクト指定を解除するには
手順**2**で［切］を選択します。

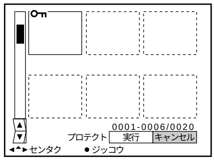
インデックス画面表示のとき

1 PLAY/STILL**スイッチを「**PLAY**」にして、インデックス画面表示にする。**

2 **メニューから［ファイル］→［プロテクト］→［全画像］または［選択画像］の順に選択する。**

3 **［全画像］を選択したときは**
［入］を選択する。
フロッピーディスクに記録されている、すべての画像がプロテクトされます。

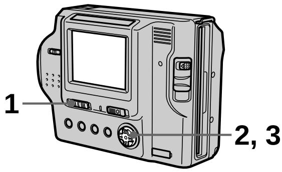
［選択画像］を選択したときは
プロテクトしたい画像をコントロールボタンですべて選択してから、［実行］を選択する。
選んだ画像がプロテクトされます。



プロテクト指定を解除するには
手順**2**で［全画像］を選択したときは［切］を選択します。［選択画像］を選択したときは、プロテクトを解除したい画像をコントロールボタンで選んだあと［実行］を選択します。

画像を消す – 削除

プロテクトされた画像は削除できません。



シングル画面表示のとき

1 PLAY/STILL**スイッチを「PLAY」にして、削除したい画像を表示する。**

2 メニューから［削除］→［実行］の順に選択する。

画像が削除されます。

インデックス画面表示のとき

1 PLAY/STILL**スイッチを「PLAY」にして、インデックス画面表示にする。**

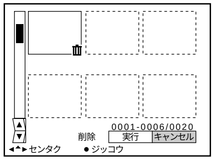
2 メニューから［削除］→［全画像］または［選択画像］の順に選択する。

3 ［全画像］を選択したときは

［実行］を選択する。
プロテクトされていない画像がすべて削除されます。

［選択画像］を選択したときは

削除したい画像をコントロールボタンですべて選択してから、［実行］を選択する。
選択した画像には🗑マークがつき、削除されます。

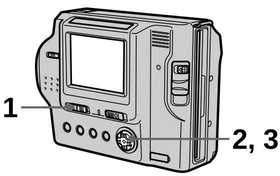


削除を中止するには

手順**2**または**3**で［キャンセル］を選択します。

撮影した画像のサイズを変える – リサイズ

Eメール添付するために小さな画像が必要なときなどに使います。リサイズ後の画像は最新ファイルとして記録されます。リサイズ前の画像はそのまま残ります。



1 PLAY/STILL**スイッチを「PLAY」にして、サイズを変えたい画像を表示する。**

2 メニューから［ツール］→［リサイズ］の順に選択する。

3 変更したいサイズを選択する。

1280×960、1024×768、640×480

変更した画像が記録され、リサイズ前の画像表示に戻ります。

リサイズを中止するには

手順**3**で［キャンセル］を選択します。

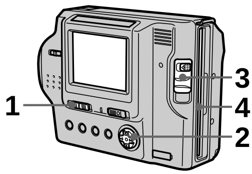
ご注意

- テキストモードで撮影した画像はリサイズできません。
- 小さいサイズを大きいサイズにリサイズすると、画質が劣化します。

画像をコピーする – コピー

別のフロッピーディスクに画像をコピーします。

シングル画面表示のとき



1 PLAY/STILL**スイッチを「PLAY」にして、コピーしたい画像を表示する。**

2 メニューから［ツール］→［コピー］→［実行］の順に選択する。

「アクセス中」と表示されます。

3「ディスク交換」と表示されたら、コピー元のフロッピーディスクを取り出す。

「ディスク挿入」と表示されます。

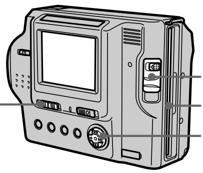
4 コピー先のフロッピーディスクを入れる。

「記録中」と表示されます。
「書き込み終了」と表示されたら完了です。
終了するときは［終了］を選択します。

さらに別のフロッピーディスクにもコピーするときは

手順**4**で「書き込み終了」と表示された後、［コピー続行］を選択し、手順**3**と**4**を繰り返します。

インデックス画面表示のとき



1 **PLAY/STILLスイッチを「PLAY」にして、インデックス画面表示にする。**

2 **メニューから［ツール］→［コピー］→［全画像］または［選択画像］の順に選択する。**

3 **［全画像］を選択したときは**

［実行］を選択する。
すべての画像がコピーされます。

［選択画像］を選択したときは

コピーしたい画像をコントロールボタンで選択する。
✔ が画像に表示されます。
コピーしたい画像をすべて選択してから、［実行］を選択する。
「アクセス中」と表示されます。

4 **「ディスク交換」と表示されたら、コピー元のフロッピーディスクを取り出す。**

「ディスク挿入」と表示されます。

5 **コピー先のフロッピーディスクを入れる。**

「記録中」と表示されます。
「書き込み終了」と表示されたら完了です。
終了するときは［終了］を選択します。

さらに別のフロッピーディスクにもコピーするときは

手順**5**で「書き込み終了」と表示された後、［コピー続行］を選択し、手順**4**と**5**を繰り返します。

手順の途中で中止するときは

PLAY/STILLスイッチを切り換えるか、電源を切ります。

ご注意

「書き込み終了」と表示された後、［終了］を選択しないでフロッピーディスクを抜き差しすると、画像がコピーされてしまいます。

メモリースティック用フロッピーディスクアダプター（別売り）を使用するときのご注意

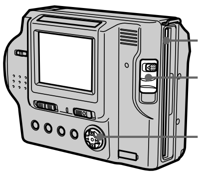
- "メモリースティック"の画像には[全画像]を選択することはできません。
- フロッピーディスクから"メモリースティック"へのコピーはできません。
- "メモリースティック"からフロッピーディスクへコピーするときには、ファイル情報(Exifタグ)はコピーできません。

フロッピーディスクのすべての情報をコピーする
– ディスクコピー

撮影した画像だけでなく、パソコンで加工したファイルなども他のフロッピーディスクにコピーすることができます。

ご注意

- ディスクコピーをすると、コピー先のフロッピーディスクの内容はすべて消えます。プロテクトされているデータも消えるのでご注意ください。
- コピー先のフロッピーディスクは必ず本機で初期化してお使いください（49ページ）。



1 **コピー元のフロッピーディスクを入れる。**

2 **メニューから［ファイル］→［ディスクツール］→［ディスクコピー］→［実行］の順に選択する。**

「アクセス中」と表示されます。

3 **「ディスク交換」と表示されたら、コピー元のフロッピーディスクを取り出す。**

4 **「ディスク挿入」と表示されたら、コピー先のフロッピーディスクを入れる。**

「記録中」と表示されます。
「書き込み終了」と表示されたら完了です。
終了するときは、［終了］を選択します。

さらに別のフロッピーディスクにもコピーするときは

手順**4**で「書き込み終了」と表示された後、［コピー続行］を選択し、手順**3**と**4**を繰り返します。

手順の途中で中止するときは

PLAY/STILLスイッチを切り換えるか、電源を切ります。

ご注意

「書き込み終了」と表示された後、［終了］を選択しないでフロッピーディスクを取り出して、もう1度入れると、そのフロッピーディスクにディスクコピーされてしまいます。

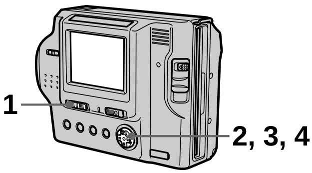
メモリースティック用フロッピーディスクアダプター（別売り）を使用するときのご注意

“メモリースティック”とフロッピーディスクの間ではディスクコピーはできません。

プリントしたい画像を選ぶ

– プリントマーク

撮影した画像の中からプリントしたい画像を指定することができます。DPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しているお店で画像をプリントするときなどに便利です。



シングル画面表示のとき

1 **PLAY/STILLスイッチを「PLAY」にして、プリントしたい画像を表示する。**

2 **メニューから［ファイル］→［プリントマーク］→［入］の順に選択する。**

表示されている画像に（プリント）マークがつきます。

プリントマークを消すには

手順**2**で［切］を選択します。

インデックス画面表示のとき

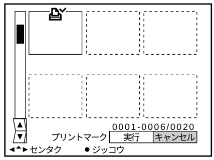
1 **PLAY/STILLスイッチを「PLAY」にして、インデックス表示画面にする。**

2 **メニューから［ファイル］→［プリントマーク］→［選択画像］の順に選択する。**

3 **プリントマークをつけたい画像をコントロールボタンで選択する。**

4 **［実行］を選択する。**

（プリント）マークが緑色から白色に変わります。



プリントマークを消すには

手順**3**でプリントマークを消したい画像をコントロールボタンで選び、［実行］を選択します。

すべての画像のプリントマークを消すには

メニューから［ファイル］→［プリントマーク］→［全画像］→［切］の順に選択します。

すべての画像の（プリント）マークが消えます。

マビカプリンターFVP-1でプリントするときは

プリンターのPRESET SELECT SWを「PC」にセットします。

ご注意

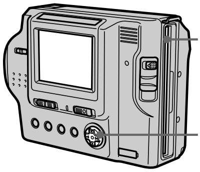
テキストモードで撮影した画像にプリントマークをつけることはできません。

フロッピーディスクを初期化する – フォーマット

初期化するとフロッピーディスクの内容はすべて失われます。初期化する前に内容を確認してください。

ご注意

画像がプロテクトされていても消去されますのでご注意ください。



1 **初期化したいフロッピーディスクを入れる。**

2 **メニューから［ファイル］→［ディスクツール］→［フォーマット］→［実行］の順に選択する。**

初期化を中止するには

手順**2**で［キャンセル］を選択します。

ご注意

- 必ずバッテリーが満充電された状態か、ACパワーアダプターから電源をとっている状態で初期化してください。
- メモリースティック用フロッピーディスクアダプター（別売り）を使って“メモリースティック”を初期化することもできます。

使用上のご注意

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください 。

海岸やほこりの多い場所で使ったあとは

カメラをよく清掃してください。潮風で金属が腐食したり、砂ぼこりが内部に入ったりすると故障の原因になります。

フロッピーディスクについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。ディスク表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。
- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- 3.5インチ2HDフロッピーディスクでも、使用環境によっては画像の読み書きができないものがあります。そのときは別の銘柄のフロッピーディスクをご使用ください。

動作温度について

本機の動作温度は約0°C～40°Cです。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起こりやすいのは

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき、など。

結露を起こりにくくするために

本機を寒いところから急に暖い所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは

フロッピーディスクを直ちに取り出してください。電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側についた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切に関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。
充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し半年程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

充電方法

本機をACパワーアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源を切った状態にして24時間以上放置する。

“メモリースティック”について

“メモリースティック”は、小さく軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。
“メモリースティック”には、一般の“メモリースティック”、著作権保護技術（マジックゲート*）を搭載した“マジックゲート メモリースティック”の2種類があります。
本機では“マジックゲート メモリースティック”と一般の“メモリースティック”のどちらもご使用いただけます。ただし、本機はマジックゲート規格に対応していないため、本機で記録したデータは著作権の保護の対象にはなりません。

* “マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

ご注意

- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  – 静電気やノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。

“Memory Stick”（“メモリースティック”）、MEMORY STICK、“MagicGate Memory Stick”（“マジックゲート メモリースティック”）およびMGはソニー株式会社の商標です。
“マジックゲート”および“MAGICGATE”はソニー株式会社の商標です。

その他

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りACアダプター／チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。別売りACアダプター／チャージャーを使用すると、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

充電について

- 本機をご使用になる前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10～30°Cの環境で、POWER ON/OFF（CHG）ランプが消える（満充電）まで充電することをおすすめします。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACパワーアダプターを本機のDC IN端子から抜くかバッテリーを取りはずしてください。

バッテリーの上手な使い方

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、次のことをおすすめします。
  – バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前、本機に取りつける。
  – 高容量バッテリー「NP-F550（別売り）」を使用する。
- 液晶画面の使用やズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-F550（別売り）」のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影または再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再度満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使用したり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安としてお使いください。
- バッテリー残量時間が約5～10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってから湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るにはフロッピーディスクおよび“メモリースティック”を入れずに、再生状態で電源が切れるまでそのままにしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。
液晶画面に「C：□□：□□」のような表示が出たときは自己診断表示機能が働いています。59**ページをご覧ください。**

症状	原因	処置
操作を受け付けない。	“インフォリチウム”以外のバッテリーを使用している。	“インフォリチウム”バッテリーを使う（7ページ）。
	フロッピーディスクの位置がずれている。	フロッピーディスクを取り出して入れ直す（14ページ）。
	バッテリーが残り少ない（ 表示が出る）。	バッテリーを満充電する（8ページ）。
	ACパワーアダプターがしっかり差し込まれていない。	DC IN端子とコンセントにしっかり差し込む（8、11ページ）。
	内部システムの誤動作。	電源を切り、1分後に電源を入れて、正しく動作するか確認する。
撮影ができない。	PLAY/STILLスイッチが「PLAY」になっている。	「STILL」にする（15ページ）。
	フロッピーディスクが入っていない。	フロッピーディスクを入れる（14ページ）。
	フロッピーディスクのタブが書き込み禁止になっている。	書き込み可能にする（14ページ）。
ピントがあっていない。	3 cm～25 cmで撮影するときに、マクロ撮影モードになっていない。	• マクロ撮影モードにする（34ページ）。 • ズームレバーで広角（W側）にする。
ノイズが入る。	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置く。
画像が暗い。	逆光になっている。	画像の明るさを調節する（37ページ）。
	液晶画面が暗い。	液晶画面の明るさを調節する（17ページ）。
フラッシュ撮影ができない。	設定が になっている。	（表示なし）または 、 に設定する（19ページ）。
	プログラムAEの「夜景」または「夜景プラス」、「風景」モードになっている。	解除する（35ページ）。 または に設定する（19ページ）。

症状	原因	処置
正しい撮影日時が記録されない。	日付・時刻を合わせていない。	日付・時刻を合わせる（12ページ）。
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いた画像になる。	スミアという現象。	故障ではない。
“メモリースティック”使用時、データの読み書きが遅い。	メモリースティック用フロッピーディスクアダプター使用時には、フロッピーディスクの場合の約2倍の時間がかかる。	故障ではない。
ズームが効かない。	プログラムAEがパンフォーカスモードになっている。	解除する（35ページ）。
デジタルズームが効かない。	デジタルズームが［切］になっている。	メニューで［デジタルズーム］を［入］にする。
画像が白黒になっている。	テキストモードになっている。	通常撮影モードに戻す（33ページ）。
	ピクチャーエフェクトのモノトーンモードになっている。	ピクチャーエフェクトを解除する（39ページ）。
パソコンで再生できない。	－	パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
画像を消去できない。	プロテクトされている。	プロテクトを解除する（43ページ）。
電源が途中で切れる。	PLAY/STILLスイッチが「STILL」でなにも操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる。	電源を入れる。
	バッテリーが消耗している。	満充電されたバッテリーを入れる。
スライドショーが自動的に止まる。	スライドショーは約20分で止まる。	続けるときはもう1度［スタート］を選択する（42ページ）。
プログラムAEにならない。	テキストモードになっている。	解除する（33ページ）。
マクロ撮影ができない。	プログラムAEのパンフォーカスモードになっている。	解除する（35ページ）。
リサイズができない。	テキスト画像はリサイズできない。	－
プリントマークが付かない。	テキスト画像にはプリントマークを付けることができない。	－

バッテリーパック

症状	原因	処置
バッテリーを充電できない。	本機の電源が入っている。	電源を切る（8ページ）。
バッテリーの消耗が早い。	温度が極端に低いところで撮影／再生している。	ー
	充電が不充分。	満充電する。
	バッテリーそのものの寿命。	新しいバッテリーと交換する。
バッテリーの残量表示が正しくない。または、バッテリー残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。	温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。	ー
	バッテリーそのものの寿命。	新しいバッテリーと交換する（7ページ）。
	バッテリーが消耗している。	満充電されたバッテリーを取り付ける（7、8ページ）。
	残量表示機能と実際の残量にズレが生じた。	満充電すると、残量表示機能が正しくなる（8ページ）。
バッテリー充電中、POWER ON/OFF（CHG）ランプが点滅する。	バッテリーが故障している。	テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。
バッテリー充電中、POWER ON/OFF（CHG）ランプが点灯しない。	ACパワーアダプターがはずれている。	電源をきちんと接続する（8ページ）。
	バッテリーが正しく取り付けられてない。	正しく取り付ける（7ページ）。
	完了している。	ー

警告表示について

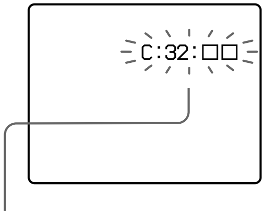
液晶画面には次のような表示が出ます。説明にしたがいチェックしてください。

表示	意味
ドライブエラー	フロッピーディスクドライブの異常。
ディスクがありません	フロッピーディスクが入っていない。
フォーマットエラー	• MS-DOSフォーマット(512バイト×18セクタ)以外のフロッピーディスクが入っている。 • メモリースティック用フロッピーディスクアダプターの電池がない。
ディスクがプロテクトされています	フロッピーディスクのタブが書き込み禁止の位置になっている。
ディスクがいっぱいです	フロッピーディスクの容量がいっぱいで記録できない。
ファイルがありません	画像が記録されていない。
ファイルエラー	画像再生時の異常。
ファイルがプロテクトされています	画像に誤消去防止がかけられている。
ディスクエラー	2DDのフロッピーディスクが挿入されている。またはフロッピーディスクの異常。
コピーできる容量を超えています	コピーしようとしているファイルサイズが大きすぎて本機ではコピーできない。
画像サイズオーバーです	本機で再生できるサイズより大きい画像を再生しようとした。
無効な操作です	• メモリースティック用フロッピーディスクアダプターを使用しているときにディスクコピーしようとした。 • メモリースティック用フロッピーディスクアダプターを使用しているときに[コピー]の[全画像]を選択した。
“インフォリチウム”バッテリーを使ってください。	“インフォリチウム”対応以外のバッテリーを使っている。
	画像に誤消去防止がかけられている。
	バッテリーの残量が少ない。使用状況や環境、バッテリーパックによっては、残量時間が約5分から10分でが点滅することがある。
FDアダプターの電池が不足しています	メモリースティック用フロッピーディスクアダプターの電池残量が少ない。
記録できません	メモリースティック用フロッピーディスクアダプターの電池残量が少ないので記録できない。

表示	意味
無効な操作です	メモリースティック用フロッピーディスクアダプターの電池残量が少ないので行おうとした操作ができない。
ディスクエラー	• メモリースティック用フロッピーディスクアダプターの電池残量が少ないので操作がまったくできない。 • メモリースティック用フロッピーディスクアダプターの異常。

自己診断表示 ー アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに液晶画面にアルファベットと4桁の数字でお知らせする機能です。表示によって、異常の内容が分かるようになっています。
詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。
表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。



自己診断表示

- 「C:□□:□□」
  お客さま自身で正常な状態に戻せる内容
- 「E:□□:□□」
  テクニカルインフォメーションセンターに相談していただく内容

表示	原因	対応のしかた
C:32:□□	フロッピーディスクドライブの異常。	電源を入れ直す。
C:13:□□	初期化していないフロッピーディスクを入れた。	初期化する。（49ページ）
	本機では使えないフロッピーディスクを入れた。 データが壊れている。	フロッピーディスクを交換する。（14ページ）
	メモリースティック用フロッピーディスクアダプターの電池がない。	新しい電池を入れる。
E:61:□□ E:91:□□	お客さま自身では対応できない異常が起きている。	テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際は、表示をすべてお知らせください。 例：E:61:10

「C:□□...」から始まる表示が出たときは、上記の操作を2、3度繰り返してください。それでも正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

その他

主な仕様

システム

撮像素子
6.64 mm（1/2.7型）
カラーCCD
レンズ
3倍ズームレンズ
f＝6.1～18.3 mm
（35 mmカメラ換算では39～117 mm）
F2.8 ～ 2.9
露出制御
自動
ホワイトバランス
自動、屋内、屋外、ホールド
データ圧縮方式
GIF（テキストモード）
フロッピーディスク：
JPEG（JFIF）
“ メモリースティック ”:
JPEG（Exif2.1）
記憶媒体
3.5インチ　2HDフロッピーディスク（1.44 Mバイト）
MS-DOSフォーマット
“ メモリースティック ”
（メモリースティック用フロッピーディスクアダプターMSAC-FD2M/FD2MA使用時）
DCF98フォーマット
フラッシュ
推奨撮影距離 0.3 m ～ 2.5 m

液晶画面

使用液晶パネル
TFT（薄膜トランジスタアクティブマトリックス）駆動
総ドット数
123 200（560×220）ドット

電源・その他

使用バッテリー
NP-F330（付属）/NP-F550
電源電圧バッテリー端子入力
8.4 V
消費電力（撮影時）
3.5 W
動作温度
0℃ ～ ＋40℃
保存温度
–20℃ ～ ＋60℃
最大外形寸法
143×103×75 mm（幅×高さ×奥行）
本体質量
約630 g（バッテリーNP-F330、フロッピーディスク、レンズキャップなど含む）

AC**パワーアダプター**AC-L10A

電源
AC100～240 V、50/60 Hz
定格出力
DC8.4 V、1.5 A
動作温度
0℃～＋40℃
保存温度
–20℃～＋60℃
最大外形寸法
125×39×62 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量
約280 g

バッテリーNP-F330

使用電池
リチウムイオン蓄電池
最大電圧
DC8.4 V
公称電圧
DC7.2 V
容量
5.0 Wh（700 mAh）
動作温度
0℃～＋40℃
最大外形寸法
38.4×20.6×70.8 mm
（幅×高さ×奥行）
本体質量
約70 g

付属品

ACパワーアダプター
AC-L10A（1）
電源コード（1）
バッテリーパックNP-F330（1）
ショルダーベルト（1）
レンズキャップ（1）
レンズキャップ用ひも（1）
取扱説明書（1）
安全のために（1）
保証書（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやフロッピーディスクなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

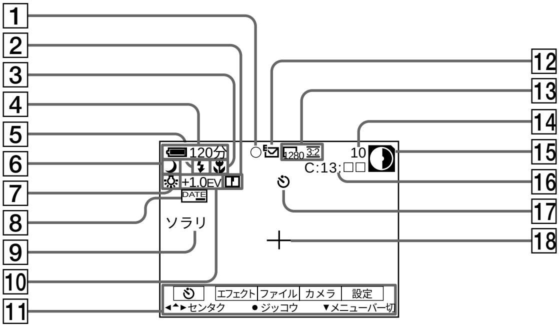
海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

付属のACパワーアダプターAC-L10A **は** AC 100 V ～ 240 V・50/60 Hz**の広範囲な電源でお使いいただけます。**
ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、電源コンセントに合った変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、ご使用にならないでください。故障の原因となります。

画面表示

撮影時



1 AE/**フォーカスロック表示**

2 **シャープネス表示**

3 **マクロ表示／手動ピント合わせ表示**

4 **バッテリー残量表示**

5 **フラッシュレベル表示／フラッシュモード表示**

6 **プログラム** AE**表示／ズーム表示**

7 **ホワイトバランス表示**

8 **日付／時刻表示**

9 **ピクチャーエフェクト表示**
これらの表示は操作時のみ表示されます。

10 EV**補正表示**

11 **メニューバー／ガイドメニュー**
コントロールボタンの▲を押すと表示されます。▼を押すと消えます。

12 **撮影モード表示**

13 **画像サイズ表示**

14 **撮影枚数表示**

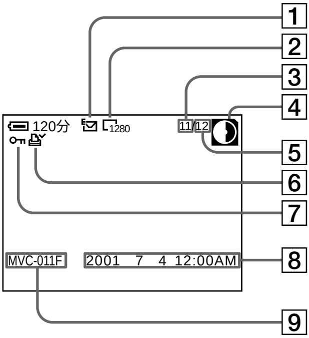
15 **ディスク残量表示**

16 **自己診断表示**

17 **セルフタイマー表示**

18 **スポット測光照準**

画像再生時



1 撮影モード表示

2 画像サイズ表示

3 画像番号

4 ディスク残量

5 フロッピーディスク記録枚数

6 プリントマーク表示

7 プロテクト表示／ズーム倍率表示

8 画像の記録日時表示*

9 ファイル名*

* メニューバーを表示しているときは消えます。

その他

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

アルファベット順

カスタマー登録のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

ソニーではデジタルスチルカメラをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマー登録」をお勧めしています。
詳しくは同梱の「カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■カスタマー登録および登録内容の変更は
こちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/di-regi/

カスタマー登録に関する問い合わせ
ソニーマーケティング（株）
カスタマー専用デスク
電話：　**03-3584-6651**
受付時間：月〜金曜日　午前10時〜午後6時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■デジタルイメージングカスタマーサポート
デジタルスチルカメラとパソコンの接続方法や、最新サポート情報をご案内するホームページです。
http://www.sony.co.jp/support-di/

■テクニカルインフォメーションセンター
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。
電話：　**0564-62-4979**
受付時間：月〜金曜日　午前9時〜午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

D-Imaging World (デジタルイメージングワールド)
デジタルスチルカメラやハンディカムを楽しく使っていただくためのホームページです。
http://www.sony.co.jp/di-world/

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan

VOC（揮発性有機化合物）1%以下植物油インキ使用

3 0 6 6 7 4 1 0 1